

整理番号	51-5	事務事業名	消防水利等整備事業	作成部署	消防本部警防課	電話	内線699	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	中津 史郎	課長職名	野村 誠	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S49	根拠法令等	消防法第20条第2項、水利の基準第1条					
"終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	消防水利(消火栓、防火水槽等)の基準に基づき市町村の消防に必要な最小限の水利を配置する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	防災と消防	(第7節)
	施策	消防、救急活動の強化	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	消防水利(消火栓、防火水槽)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	無水利地域の解消を図り、火災等の発生時に速やかに消火活動を行えるよう、消防水利の配置を行う。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	H12 防火水槽設置 (40トン級)耐震性二次製品 北広公園内 H12 消火栓設置 前澤単口大曲並木2丁目 (13年度及び14年度は未設置) H15 防火水槽設置 (40トン級)耐震性二次製品 南公園内 H16 消火栓設置 前澤単口1基 大曲工業団地3丁目
		17年度	消火栓1基設置 中央2丁目(予定)

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	8,106	806	980	1,200
	合計	8,106	806	980	1,200
人件費(概算)	人数(年間)	0.30	0.20	0.20	0.20
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	2,700	1,800	1,800	1,800
総事業費 +		10,806	2,606	2,780	3,000

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
(事務事業の活動量や実績)	活動指標				
	消火栓整備数(民間整備数)	2(2)	1		
	防火水槽整備数(40トン未満を含まない)	1			
	消火栓数(累計)	477	478	479	480
	防火水槽数(40トン未満を含まない)	72	72	72	72
	合計基数 A	549	550	551	552
成果指標(目的の達成度を測るものさし)	消防水利の充足率	93.10%	93.20%	93.40%	93.60%
	(A/基準数590)				
効率指標(主要活動単位当たりコスト)	消防水利1基当たり整備コスト(千円)	(防火水槽)10,806	(消火栓)2,606	(消火栓)2,780	(消火栓)3,000

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等 阪神・淡路の大震災以降、消火栓に偏ることのないように水利を配置するには、防火水槽の設置がもてめられている。水利の基準により充足率の向上を図り、市民の災害による被害を軽減し、社会公共の福祉増進に資する。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	消防水利(消火栓、防火水槽等)は、消防法より行政が設置することとされており、関与は妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民が安全に生活するためには妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	消防法に基づき、市が消防水利(消火栓、防火水槽等)を整備する責任がある。ただし、開発行為等は民間などが設置する。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	消防水利(消火栓、防火水槽)を整備することは有効性があり、着実に成果が上がる。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	消防水利(消火栓、防火水槽等)の整備計画は着実に前進しており、効率的に実施されている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	消防、水道事業が協力し整備して水利の基準の充足率向上に努め、適性に維持管理していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり